

あいりん地域を中心とする環境整備の取組み

【5か年計画の成果・今後の取組みの方向性】

令和元年12月

大阪府
大阪府警察本部
大阪市

■これまでの取組み

あいりん地域における、覚醒剤等の薬物取引や公園・道路におけるゴミの不法投棄、道路を不正使用しての露店営業が頻発している状況を改善するため、**大阪府・大阪府警・大阪市が連携し、平成26～30年度の5か年を集中取組み期間（5か年計画）として、地域の環境整備を強力に推進してきた。**

かつて（H25年度以前）のあいりん地域の状況

○覚醒剤検挙事案

- ・覚醒剤の密売が日常的に行われており、大阪府内及び他府県から覚醒剤を購入するために、あいりん地域へ来る者が後を絶たない。
- ・府内の薬物犯検挙人員（㊦1,713人）のうち約21%があいりん地域での検挙となっている。

○不法投棄ごみ

- ・他の地域に比べ、あいりん地域の回収量が非常に多く、大阪市内の回収量（㊦4,796ト）のうち約34%を占めている。

○露店営業

- ・道路を不正使用しての露店営業やわいせつDVDの露店販売などが日常的となっている。

5か年計画（H26～30年度）の取組み

大阪市が進める西成特区構想【※】と呼応して、大阪府、大阪府警、大阪市が相互に連携を密にし、それぞれの資源を投入して取組みを強化。

○薬物対策として、**取締活動を徹底**するほか、**薬物乱用防止の啓発**や、**薬物依存症者やその家族に対する治療・ケア**の新たな取組みなど、総合的に取組み。

○行政と地域住民等が協力して、**不法投棄ごみの収集**や**不法投棄防止の啓発・巡回等**を実施。

○**防犯カメラ設置**や**道路照明灯の整備**、**道路不正使用等の取締**など、通学路等の安全確保に重点対策。

【※】西成特区構想について

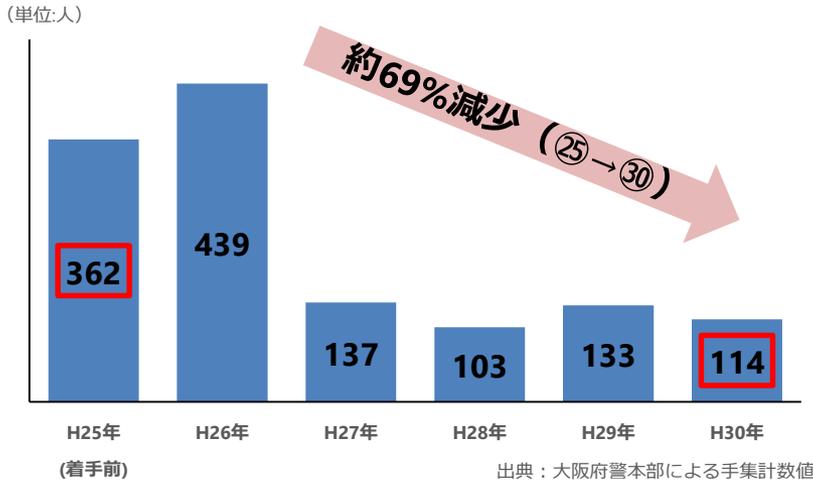
大阪市では「西成特区構想有識者座談会報告書」の提言を受けて、H25年度から具体的な取組みを推進（～R4(2022)年度まで）

- ・短期集中的対策：不法投棄対策、落書き対策、迷惑駐輪対策、防犯対策、結核対策
- ・中長期的対策：プレーパーク事業（子どもの居場所）、簡易宿所設備改善助成事業（観光客等の受入環境の整備）
- ・将来のための投資プロジェクト・大規模事業：あいりん総合センター建替え

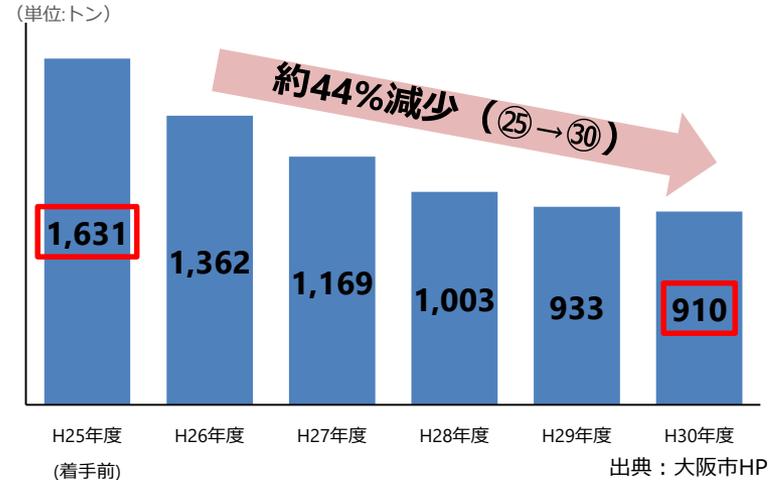
■ 5 年計画の成果

大阪府・大阪府警・大阪市が協力し、あいりん地域の環境整備を強力に推進してきた結果、覚醒剤等の薬物事犯や不法投棄ごみ、通学路等の安全対策の状況が改善。地域の方々も「環境が良くなった」との評価が大半を占めており、**まちの治安や環境の改善に大きな成果。**

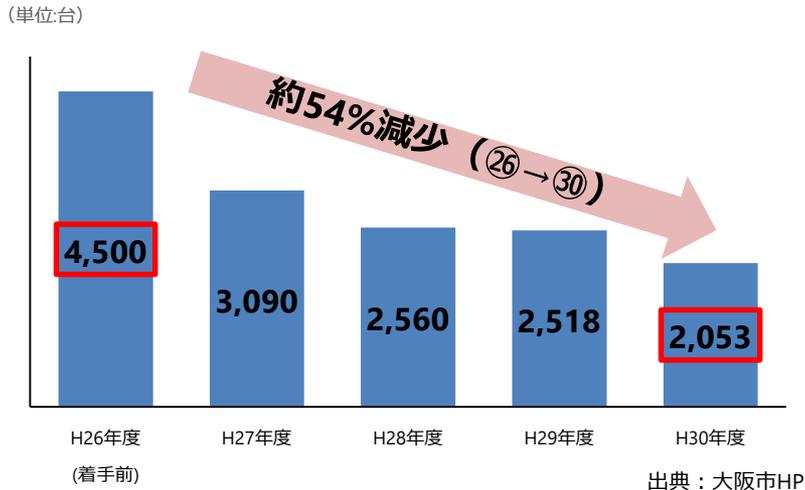
あいりん地域の薬物事犯検挙人員数



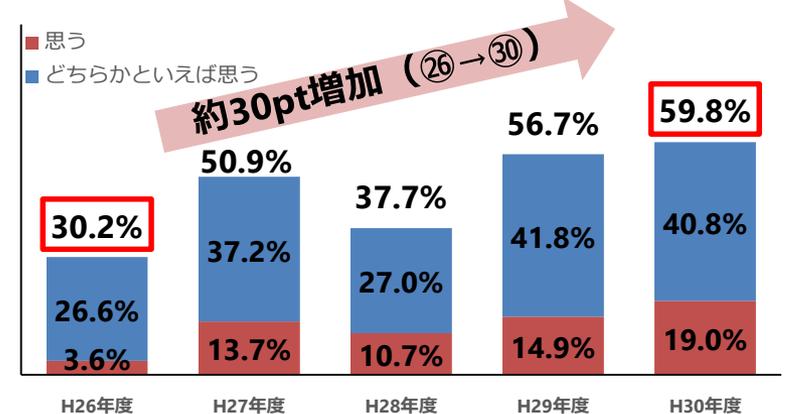
あいりん地域の不法投棄ごみ収集量



あいりん地域の迷惑駐輪台数



西成区民意識調査(区民モニターアンケート)結果
「あいりん地域の環境が良くなったと思いますか」



■ 継続的な取組みの必要性

治安面や環境面など喫緊の課題は改善されたが、今後取り組むべき課題も残されており、これまでの成果を維持するため、地域の環境整備のための取組みの継続は必要。

引き続き取り組むべき課題

潜在化・巧妙化する薬物密売

一斉摘発及び継続的な巡回警戒等により、従来のようなあからさまな路上密売は姿を消した。しかし、簡易宿泊所等の屋内拠点での密売やデリバリー方式による密売が行われていると考えられる。

ごみ出しルールの定着

巡回・啓発活動の結果、悪質な不法投棄ごみが減少するなど、不法投棄は大幅に減少したが、地域住民へのごみ出しルールの定着には至っていない。

新たな販売形態による違法露店

平日の通学時間帯における違法露店はほぼ解消された一方で、**早朝時間帯・土日・祝日における出店**や、自転車に商品を載せたまま販売するなど、**摘発逃れをねらった新たな販売形態等**が見られるようになった。



今後の主な取組み

○ 薬物事犯取締体制の強化

⇒ 宿泊施設管理者との協力体制を構築し宿泊施設における密売拠点を摘発するとともに、デリバリー方式による密売の壊滅を図る。

路上密売が再開することのないように、あいりん地域内における巡回警戒を継続的に実施する。

○ 不法投棄ごみ対策の重点実施

⇒ 不法投棄抑制、ごみ出しルールの定着に向けた啓発や巡回を実施。さらに、警察の取締活動も引き続き推進。

○ 通学路を中心とした安全対策

⇒ 登下校時等の安全対策や、摘発逃れを狙った新たな露店販売形態など実態に応じた取締活動等の推進。

■ 地域の状況の変化

周辺地域の動き

○外国人観光客の増加に伴う民間資本の進出

インバウンド増加に伴い、リゾートホテルなど民間資本による開発が進みつつある。

【新今宮の国際ゲストハウス9軒の外国人延べ宿泊者数】

2010(H22)年 約7.6万人 → 2016(H28)年 約17.6万人 (約10万人増)

【新今宮駅周辺の民間資本の進出状況】

2018(H30)年10月 訪日外国人向けホテル開業

2019(R元)年 9月 南海電鉄による外国人向け就労インバウンドトレーニング施設「YOLOBASE」を開業

2022(R4)年春 星野リゾート 新ホテル開業予定

○なにわ筋線事業化による交通の利便性の更なる向上

関空やミナミなどの主要観光地にも乗換えなしで行ける交通の結節点であり、なにわ筋線(北梅田駅～JR難波駅・南海新今宮駅)の開通する2031年にはさらに利便性が向上。

労働施設の本移転に向けた取組み

○労働施設の本移転

利用者の安全・安心確保を最優先に、いったん外部に仮移転し、現地で建替えることを確認。新施設の機能の検討を踏まえ、規模及び配置を検討中。

【建替えに向けたスケジュール(想定も含む)】

2019(H31)年3月末 旧施設閉鎖(完全閉鎖は4月24日)

2019(H31)年3月～ 仮移転施設での業務開始

新施設の機能や規模、跡地を活用した駅前活性化等の検討

2023(R5)年度 新施設建設工事の着工〔～2024(R6)年度〕

2025(R7)年度 業務開始

次期取組みについては、こうした動きも踏まえ、地域の環境整備はもとより、大阪の成長につながる視点から、府も関与して、まちの活性化についての検討が必要ではないか

■ 今後の取組みの方向性（基本的な考え方）

【H26～30年度までの取組み】

治安面や環境面など喫緊の課題を解決するため「地域の環境改善」の取組みを集中的に実施。

西成特区構想(大阪市)

- ◎ 不法投棄対策
- ◎ 防犯対策
- ◎ 落書き対策
- ◎ 迷惑駐輪対策
- ◎ 結核対策
- ◎ 簡易宿所設備改善助成事業
(観光客等の受入環境の整備)
- ◎ あいりん総合センター建替え(旧センター閉鎖) 《府・国》

地域の環境改善に資する取組みを中心に連携

5 年計画に位置付けた 府・府警・大阪市の連携取組み

- ◎ 不法投棄対策《府警・市》
- ◎ 通学路の安全対策《府警・市》
- ◎ 覚醒剤等薬物対策《府・府警・市》

【R元年度以降の取組み（案）】

これまでの成果を維持するために「地域の環境改善」の取組みを継続。あわせて大阪の成長の視点から、「まちの活性化」など西成特区構想を後押しする取組みを中心に府市が連携。

西成特区構想(大阪市)

- ◎ 不法投棄対策
- ◎ 防犯対策
- ◎ 迷惑駐輪対策
- ◎ 結核対策
- ◎ あいりん総合センター（労働施設等）の建替え 《府・国》

- ◎ エリアリノベーションビジネス促進事業
- ◎ 公共空間利用モデル構築事業
- ◎ 西成版サービスハブ構築・運営事業
- ◎ 魅力ある子育て環境の創出
- ◎ プレーパーク事業(子どもの居場所)、こども生活・まなびサポート事業等

地域の環境改善に加えて、まちの活性化につながる取組みを含めて連携を強化

次期取組みに位置付ける 府・府警・大阪市の連携取組み（案）

- ◎ 不法投棄対策《府警・市》
- ◎ 通学路の安全対策《府警・市》
- ◎ 覚醒剤等薬物対策《府警・市》

- ◎ まちの活性化に向けた取組み《府・市》
⇒ あいりん総合センター跡地（府市の共有地）の有効活用 など

■ 今後の取組みの方向性

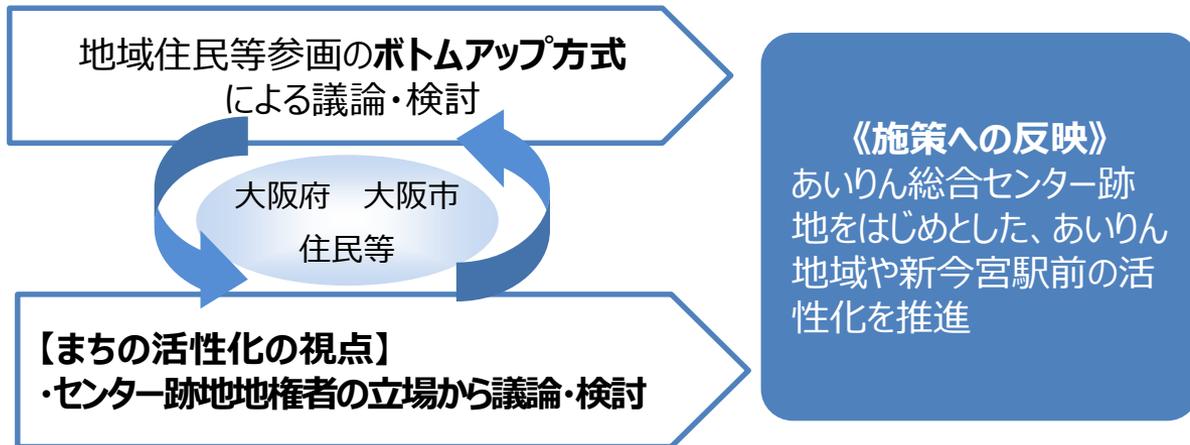
(あいりん総合センター（労働施設等）建替え・跡地活用)

地域と行政のボトムアップによる議論・検討が基本としつつ、これまでのあいりん地域の環境整備にとどまらず、多様な人が共に暮らし交流する場の創出等、まちの活性化に向けて、府市が協調し取組みを推進。

「あいりん地域まちづくり会議」等での主な検討課題

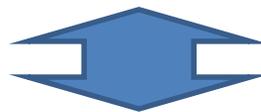
- ・移転後の労働施設が有する機能（職業紹介機能、相談機能 等）
- ・建替えにより生じるあいりん総合センター跡地の有効活用

《今後の取組みのイメージ》



大阪全体の成長

(広域行政の観点から議論・検討)

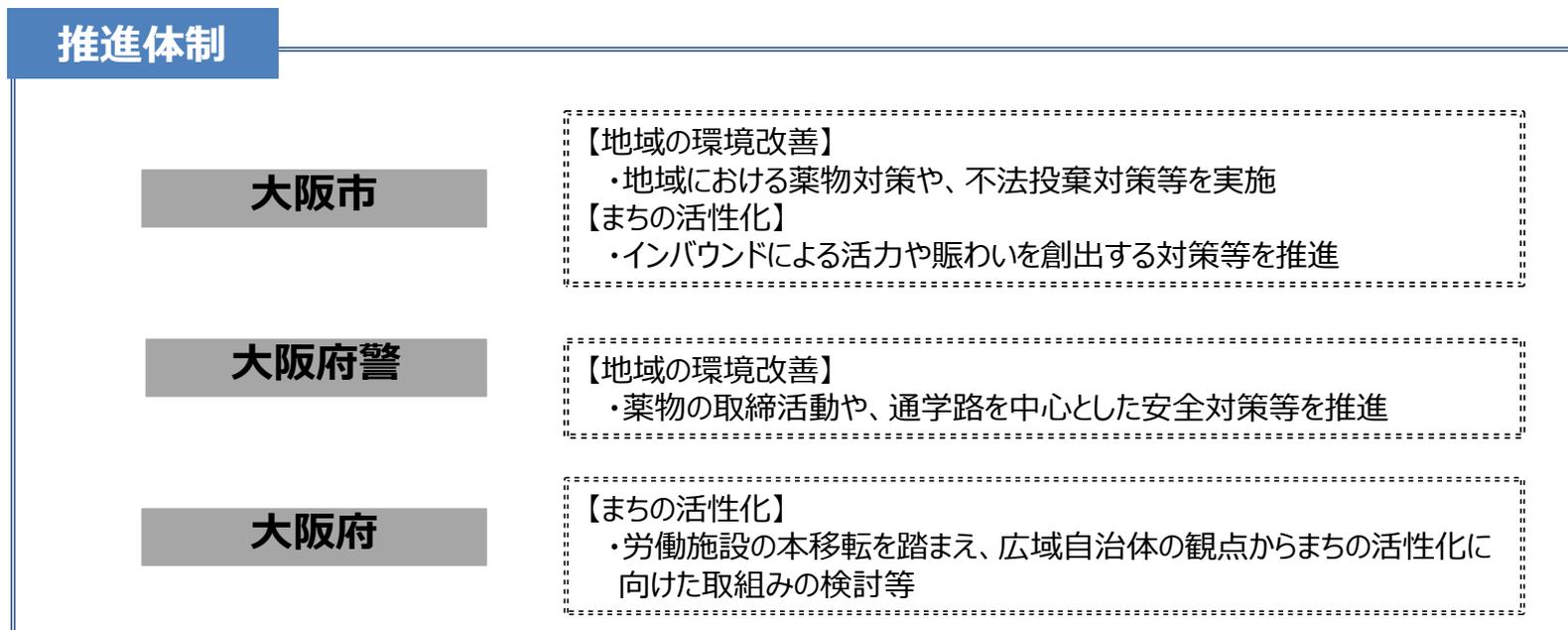


あいりん地域と周辺エリアとの調和

周辺エリア
(インバウンド増加に伴うリゾートホテル開発、
なにわ筋線事業化による交通の利便性向上など新たな動き)

■ 今後の取組みの方向性（推進体制）

令和元年度以降も、大阪府、大阪府警、大阪市が相互に連携しながら、あいりん地域の環境整備や、まちの活性化に向けた取組みを推進。



○大阪市が推進する西成特区構想と呼応して行う取組みであり、同構想の期間を勘案し、大阪府・大阪府警・大阪市の連携した**取組み期間は、令和4(2022)年度まで**とする。

○なお、具体的な取組みについては、対策の進捗状況や地域の状況の変化にも留意しながら、必要に応じて柔軟に見直し等を加えながら対応していく。

■ 主な取組み

分類	主な取組み	概要
覚醒剤等 薬物対策	取締活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊施設管理者との協力体制を構築し宿泊施設における密売拠点を摘発するとともに、デリバリー方式による密売の壊滅を図る。 ・ 路上密売が再開することのないように、あいりん地域内における巡回警戒を継続的に実施する。
まちづくり、 安全・安心 の取組み	不法投棄ごみ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不法投棄抑制、ごみ出しルールの定着に向けた啓発や巡回を実施する。 ・ 警察の取締活動も引き続き推進する。
	通学路を中心とした安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登下校時等の安全対策や、摘発逃れを狙った新たな露店販売形態など実態に応じた取締活動等を推進する。
まちの活性化に向けた取組み	あいりん総合センター跡地の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移転後の労働施設が有する機能（職業紹介機能、相談機能等）の検討。 《参考》労働施設の整備スケジュール（予定） 2020年度 基本計画の策定 2021年度 基本設計 2022年度 実施設計 2023～2024年頃 建設工事 ・ 建替えにより生じる、あいりん総合センター跡地の有効活用の検討。

■ 参考

5か年計画（H26～30）の主な取組み

分類	主な取組み		概要・結果
覚醒剤等 薬物対策	取締活動		遠隔監視カメラや薬物対策鑑定装置の導入、一斉摘発及び継続的な巡回警戒等により、 路上密売はほぼ消滅 。 麻薬特例法等あらゆる法令を駆使して重罰を課し、密売人等を社会から長期隔離するとともに、同地域への密売ルートを解明して供給源を遮断。
	地域における薬物対策	薬物乱用防止の啓発	薬物乱用防止のPRイベントやポスター・リーフレット等による啓発を実施した結果、啓発活動への協力団体が増加するなど、 地域における薬物乱用防止の機運が向上。
		薬物依存症者等ケア	保健、福祉、医療、司法、教育等の関係機関の連携を推進するため、大阪アディクションセンター(OAC)を設立するなど、 薬物依存症等のケア体制の整備が進んだ。
まちづくり、安全・安心の取組み	不法投棄ごみ対策		徹底した清掃・収集、不法投棄抑制に向けた巡回、チラシ配付による啓発等を実施。さらに、警察の取締活動の推進により、 不法投棄ごみの収集量が大幅に減少。
	通学路を中心とした安全対策	防犯対策	道路照明灯のLED化や、防犯カメラ、安全対策拠点等を整備。また、警察の道路不正使用等の取締活動によって、 通学時間帯の違法露店はほぼ解消。
		落書き対策	落書きの消去及び再発防止策を実施し、 地域のイメージを著しく損なわせる落書きは無くなった。
その他の対策	迷惑駐輪対策		自転車置場の整備、迷惑駐輪自転車の撤去等を実施し、 迷惑駐輪台数が大幅に減少。

※予算累計額 H26～30年度計 16.3億円（大阪府0.3億円、大阪府警4.6億円、大阪市11.3億円）

大阪府は5年で5億円、大阪市は西成特区構想事業のうち関連事業を5か年計画事業に再掲して位置付け。

■ 参考

工事スケジュールイメージ（平成31年3月現在）

（※想定スケジュールであり、決定事項ではなく、様々な要因によって変動。）

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
市営萩之茶屋 第1住宅		← (新)萩之茶屋第1住宅建設工事 →		移転		← 第1住宅解体 →					
市営萩之茶屋 第2住宅			← 小学校解体 →	← (新)萩之茶屋第2住宅建設工事 →		移転	← 第2住宅解体 →				
社会医療センター 付属病院			← 小学校解体 →	← (新)社会医療センター建設工事 →		移転	← 社会医療センター解体 →				
あいりん労働 福祉センター	工事に入る事前の手続きなど (地元調整、法的届出、設計)		← 仮移転先(外部)建築工事 →	外部仮移転		← 労働福祉センター解体 →	← (新)あいりん労働福祉センター建設工事 ※建設工事を2年と仮定(現市設建設実績) →		本移転		
駅前活性化	← 駅前活性化 基本的な計画の立案等 →						← 駅前活性化 具体的な用途への供用 →				